

「武道振興施設のあり方に関する提案(案)」に対する意見募集の結果について

意見募集期間 平成 26 年 12 月 5 日 (金) ~ 平成 27 年 1 月 4 日 (日)

お寄せいただいたご意見 45 件

意見の概要	検討会の考え方
【県立武道館の建設に賛同する意見(45 件)】	
<p>武道振興のための拠点施設整備は県の責務であり、早期に整備されることを望む。施設の継続性を持たせるために、第三者組織の運営委員会を設置すること、必要な財源を県の責務において確保する必要がある。</p>	<p>早期の整備については、提案に反映しています。</p> <p>施設運営の方法(運営委員会の設置等)については、建設が決定した後に検討すべき課題であると考えます。財源については、県の財政状況を考慮し、地元市町村との協力・連携、民間企業との連携により、確保していく必要があると考えます。</p>
<p>剣道愛好者が一同に会して修業を続けられる環境、伝承し続けられる拠点として、早期の建設を望む。建設場所については、交通の便、宿泊施設、建物の有効活用等総合的に判断されたい。</p>	<p>剣道に限らず、武道関係者の活動拠点という観点で、提案に反映しています。</p>
<p>武道は、我が国固有の伝統文化であり、日々の稽古を通じて技を磨き、礼儀や規律を重んじる武道の精神により、豊かな人間性や良好な人間関係の形成に寄与していることから、武道振興の中核を担う施設として、建設の意義は大きい。オリンピック等の開催を見据え、できる限り早期の建設を望む。建設地については、主たる利用者となる武道競技団体の意見を尊重する必要がある。</p>	<p>武道振興の中核施設の早期建設については、提案に反映しています。</p> <p>建設地については、ご意見を踏まえ、利用者の意見を尊重するよう、提案に反映しました。</p>
<p>武道の振興、拠点発展等のため、早期建設を望む。(同趣旨6 件)</p>	<p>ご意見は、提案に反映しています。</p>
<p>日本古来の伝統文化である武道の発展の本拠地施設が必要。交通の便の良い地域への建設を希望する。(同趣旨2 件)</p>	<p>ご意見は、提案に反映しています。</p>
<p>周辺施設も含め、使いやすい施設を作っていただきたい。(同趣旨3 件)</p>	<p>ご意見は、提案に反映しています。</p>
<p>県立武道館がない県がほとんどないという現実の中、早期の建設を望む。(同趣旨2 件)</p>	<p>ご意見は、提案に反映しています。</p>
<p>人々の交流と親愛の場とすることが武道館の持つ意味だと思う。行者者・見る者・支える者、三世代に渡る人間の修業の姿が武道館では表現できるのではないか。また、各地から人が訪れることにより、国内のみならず国際交流にもつながるのではないか。</p>	<p>ご意見は、提案に反映しています。</p>

意見の概要	検討会の考え方
特に健康長寿県の実現は近々の課題であり、県立武道館の早期建設に期待している。利用率を高めるためには、利便性に配慮した適地への建設を望む。	ご意見は、提案に反映しています。
武道の健全なる発展をなすために早急に決断されたい。特に青少年が「清く正しく逞しく」社会的な人となることが、日本の発展につながる。	ご意見は、提案に反映しています。
生涯を通して武道に親しむためには、核となる拠点施設を中心にした様々な活動の活性化が不可欠。適切な建設地を選定し、地元市町村とも協力する中で、早期の建設を望む。	ご意見は、提案に反映しています。
県立武道館は、武道競技を続ける者にとって支えになる場所である。	ご意見は、提案に反映しています。
武道を通じた子どもの健康づくりからも、武道館は必要であり、子どもから高齢者まで幅広い年代で同じ競技に取り組めることが健全育成につながる。	ご意見は、提案に反映しています。
県立武道館は、生涯学習の場として県民には欠くことのできない施設。武道を通じて日本固有の伝統文化に学び、自身の研究を深め、体力の向上を目指して活動することのできる拠点施設を望む。また、武道館を多目的に使用することにより、武道愛好者のみならず、広く県民が利用できるコミュニティ活動を提供する場としての役割を果たすことも期待できる。心と体の健康を提供できる県立武道館の建設を望む。	ご意見は、提案に反映しています。
中学校における武道必修化に伴い、指導者の育成・資質向上のため、拠点となる武道館が必要。特に青少年に夢や希望を与え、競技力向上のためにも中心となる武道館が必要。東京オリンピックでは、東京から近いということもあり、絶好のPRの場となる。交通アクセス・他施設への併合性を考慮されたい。	ご意見は、提案に反映しています。
競技力向上、武道を通しての青少年健全育成のための拠点、県内の武道競技団体の連携、武道の発展・普及、生涯スポーツの振興等の観点から建設は必要。また、平成24年度からの中学校における武道必修化に伴い、適切で効果的、かつ安全な指導ができる指導者の育成、武道による体力の向上及び身体感覚・安全に関する能力を養うため、建設が必要。(同趣旨9件)	ご意見は、提案に反映しています。
武道は、年齢に応じて身体活動に取り組み、健康長寿に寄与するものである。また、平成24年度から中学校において武道が必修化されており、指導者育成を含めた武道の拠点施設として県立武道館が必要。	ご意見は、提案に反映しています。
武道は、我が国固有の伝統文化であり、日々の稽古を通して技を磨き、心を練り、自分を成長させる。心身鍛錬・人づくりの拠点となる県立武道館の早期の建設を望む。(同趣旨6件)	ご意見は、提案に反映しています。
武道に携わる老若男女が交流し、生涯スポーツ及び健康長寿県の実現の拠点として県立武道館が必要。	ご意見は、提案に反映しています。

意見の概要	検討会の考え方
<p>県立武道館があることにより、日本武道館から支援が受けられる。青少年健全育成や生涯スポーツの観点から、建設を前向きに考えられたい。</p>	<p>ご意見は、提案に反映しています。</p>
<p>県内各地に散らばった各武道団体の練習状況や場所等の情報がある程度把握するなど、気軽に武道を始められるきっかけをつくるため、県立武道館は必要。オリンピック等のため早期に建設されることが望ましいが、施設の耐震性にも配慮し、より長く、安心して使っていける施設が必要。</p>	<p>ご意見は、提案に反映しています。</p>
<p>武道を通して、日本固有の精神や意識を自然に学び継承していく心が育っていくと考える。指導者育成の拠点となるべき県立武道館が必要。また、情報を発信することにより、より多くの子どもたちが武道に関心を持つようになる。武道だけでなく、広く県民が誰でも利用できる施設を望む。</p>	<p>ご意見は、提案に反映しています。</p>
<p>日本武道館主催の研修会・講習会の実施、大規模大会の運営の観点から、早期の建設を望む。</p>	<p>ご意見は、提案に反映しています。</p>